

「消化器」コースユニット4・5・6試験問題

2019年10月4日

1. Courvoisier 徴候を示すのはどれか

- (a) 胆嚢癌
- (b) 膵尾部癌
- (c) 下部胆管癌
- (d) 肝内胆管癌
- (e) 肝門部胆管癌

2. 胆汁酸を産生するのはどれか

- (a) 肝細胞
- (b) クッパー細胞
- (c) 胆管上皮細胞
- (d) 類洞内皮細胞
- (e) 肝星細胞（伊東細胞）

3. 肝細胞癌の診断に有用な腫瘍マーカーはどれか。2つ選べ

- (a) AFP
- (b) CA19-9
- (c) CEA
- (d) NSE
- (e) PIVKA-II

4. 肝予備能の評価に有用な血液検査項目はどれか

- (a) AST
- (b) ALT
- (c) アルブミン
- (d) クレアチニン
- (e) ヘモグロビン

5. 40歳の男性。大きさ2cm、単発の肝細胞癌と診断された。腫瘍は主要脈管とは離れており、肝予備能は正常、転移は認めない。治療として適切なものはどれか。

2つ選べ

- (a) 肝切除術
- (b) 肝移植術
- (c) 放射線治療
- (d) 肝動脈塞栓療法
- (e) ラジオ波焼灼療法

6. 胆嚢摘出術の適応となるのはどれか。2つ選べ

- (a) 急性胆嚢炎
- (b) 胆嚢底部の胆嚢腺筋腫症
- (c) リンパ節転移を伴う胆嚢癌
- (d) 胆嚢コレステロールポリープ
- (e) 総胆管結石を伴う胆嚢結石症

7. 肝外胆管癌の診断、治療方針の決定に不要な検査はどれか

- (a) 肝生検
- (b) 胸部 CT
- (c) 経口胆道鏡検査
- (d) 超音波内視鏡検査
- (e) 内視鏡的逆行性胆管膵管造影

8. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) の所見として誤っているのはどれか

- (a) Vater 乳頭口の開大
- (b) 膵管内の乳頭状増生
- (c) 主膵管のびまん性狭窄
- (d) 膵管分枝のブドウの房状拡張
- (e) 主膵管内のイクラ状隆起性病変

9. 膵臓癌について正しいものはどれか。2つ選べ

- (a) 根治手術後の再発率は 20%である
- (b) 糖尿病の悪化は初期症状のひとつである
- (c) 膵臓癌に対する腹腔鏡手術の適応はない
- (d) CT ガイド下での穿刺吸引細胞診が診断に有用である
- (e) 切除不能膵臓癌の化学療法にはシスプラチンが用いられる

10. 肝の解剖につき適当なのはどれか。2つ選べ

- (a) 肝左葉は外側区域と後区域からなる
- (b) 肝グリソン鞘には胆管、門脈、肝動脈が含まれる
- (c) 臨床における右葉と左葉の境界には右肝静脈が走行する
- (d) 尾状葉は下大静脈を取り囲むように存在する
- (e) 右肝動脈は胆管の腹側を走行することが多い

11. 55 才男性。慢性 C 型肝炎の経過観察中に肝 S8 に 3cm 大の肝細胞癌が見つかった。Child 分類 A、ICG-R15 18%。適切な術式はどれか

- (a) 肝左葉切除術
- (b) 肝右葉切除術
- (c) 肝前区域切除術
- (d) 肝後区域切除術
- (e) 肝外側区域切除術

12. 急性化膿性胆管炎の原因として最も多いのはどれか

- (a) 胆嚢結石
- (b) 胆嚢癌
- (c) 総胆管結石
- (d) 下部胆管癌
- (e) 膵頭部癌

13. 正しい記載はどれか。2つ選べ

- (a) 先天性胆道拡張症は 東洋人の女性に多い
- (b) 膵・胆管合流異常症は全例胆道拡張症を伴う
- (c) 膵・胆管合流異常症は胆道癌の原因である
- (d) 小児の膵・胆管合流異常症には成人後に手術を行う
- (e) 膵・胆管合流異常症と胆石とは関係がない

14. 原発性硬化性胆管炎について誤っているのはどれか

- (a) 男性に多い
- (b) 胆管癌を併発することはまれである
- (c) 胆管像の数珠状所見が特徴である
- (d) 血清アルカリフォスファターゼ値の上昇を認める
- (e) 潰瘍性大腸炎を合併する

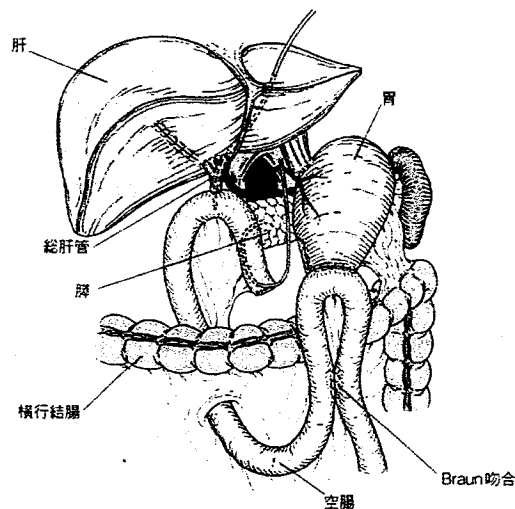
15. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (intraductal papillary neoplasm:IPMN) について、適当なものはどれか。3つ選べ

- (a) 閉塞性黄疸の原因となることがある
- (b) 膵尾部に発生することが多い
- (c) 主膵管型は分枝型と比べて悪性の可能性が高い
- (d) 壁在結節は良性の所見として重要である
- (e) 膵癌の発生要因となる

16. 膵粘液性嚢胞腫瘍 (mucinous cystic neoplasm:MCN) について、適当なものはどれか。3つ選べ

- (a) 中年女性に多い
- (b) 卵巣様間質が特徴的な組織学的所見である
- (c) 通常経過観察が可能である
- (d) 嚢胞はオレンジ様の構造を呈する
- (e) 膵頭部部に多く発症する

17. 図は膵頭十二指腸切除術の再建である。これは何法か



- (a) Billroth 法
- (b) Child 法
- (c) Whipple 法
- (d) Cattell 法
- (e) 葛西法

18. 肝の画像診断において正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 典型的な肝細胞癌の画像所見は早期濃染と washout である
- (b) 脂肪成分の検出には血管造影が有用である
- (c) 肝細胞癌の検出には肝動脈造影下 CT が第一選択である
- (d) 転移性肝癌の画像所見は nodule-in-nodule architecture である
- (e) 転移性肝癌の検出感度が最も高いモダリティは EOB-MRI である

19. 肝の造影 MRI において正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) EOB プリモビスト造影剤は全て胆汁中へ排泄される
- (b) EOB プリモビスト造影剤はクッパー細胞に取り込まれる
- (c) EOB プリモビスト造影剤を投与して 5 分後に肝細胞相が得られる
- (d) 硬変肝では EOB 造影剤の取り込み能が低下する
- (e) 肝細胞相のみで低信号を示す結節には嚴重な経過観察が必要である

20. 以下の記載について正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 肝腫瘍の血管増生や濃染を見るには DA 画像より DSA 画像の方が有用である
- (b) 血管造影手技において動脈や静脈を穿刺する方法としてセルジンガー法が有用である
- (c) 肝腫瘍の精密検査である血管造影下 CT (CTHA/CTAP) はカテーテルを腹腔動脈と下腸間膜動脈へ留置して施行する
- (d) CTHA/CTAP における肝細胞癌の典型像は、CTHA で血流欠損、CTAP で濃染である
- (e) 正常肝実質の血流支配は、約 20~25%が門脈で、約 75%~80%が肝動脈である

21. 以下の記載について誤っているのはどれか。2つ選べ

- (a) 肝臓を臨床的に右葉と左葉に分ける場合 Cantlie 線に一致する中肝静脈が目安となる
- (b) 腹部大動脈の最初の分枝は通常、左胃動脈である
- (c) 上腸間膜動脈は上腸間膜静脈の左側に存在し、動脈の方が細い
- (d) 左腎静脈は通常大動脈と上腸間膜動脈の間を走行し、上大静脈へ合流する
- (e) 脾静脈は脾臓背側を走行し、上腸間膜静脈と合流後、門脈となる

22. 胆道の画像診断に関して正しいのはどれか

- (a) 一般に総胆管径は 11 mm 以下が正常である
- (b) 胆管造影検査や MRCP において胆道腫瘍は蟹爪状所見を呈することが多い
- (c) 総胆管結石の検出感度は MRI より CT の方が優れる
- (d) 胆嚢コレステロールポリープは動脈相で良好な造影増強効果を有する
- (e) 総肝管がんでは通常、胆嚢腫大を伴う

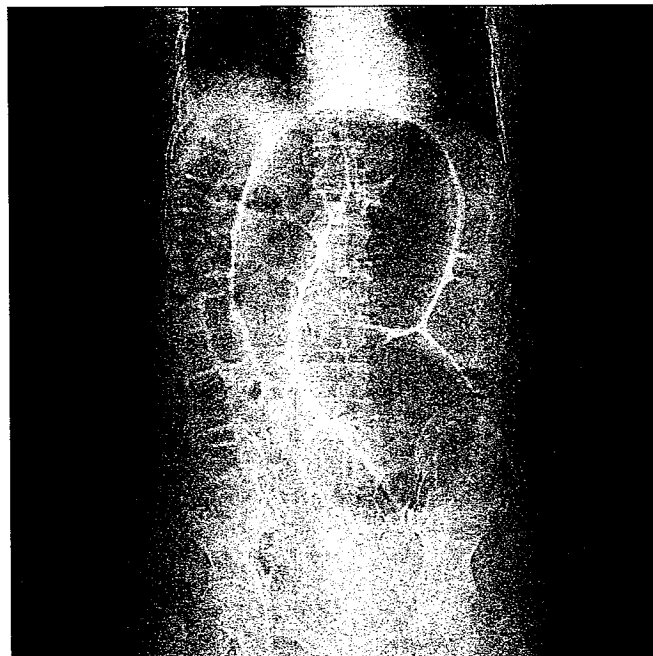
23. 脾臓の画像診断において正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 脾体尾部の境界は門脈左側縁である
- (b) 主脾管は5 mm径以下であれば正常範囲とする
- (c) 脾臓の大きさは年齢とはあまり関係がない
- (d) 通常、脾癌は脾実質相にて乏血性腫瘍として同定される
- (e) 急性脾炎において炎症が腎下極以遠に達している場合は造影 CT grade2 以上の重症である

24. 核医学検査について誤っているのはどれか

- (a) 物理学的半減期は放射線性核種の種類によって異なる
- (b) 早期胃癌は FDG-PET/CT 検査の保険適応疾患である
- (c) FDG-PET/CT では検査前に絶食が必要である
- (d) 異所性胃粘膜シンチはメッケル憩室の検出に有用である
- (e) 消化管出血シンチでは微量な出血を検出できる

25. 65歳の男性。腹痛を自覚し徐々に増悪するため受診した。腹部単純 X 線写真を示す。考えられるのはどれか



- (a) 傍十二指腸ヘルニア
- (b) 中毒性巨大結腸症
- (c) 下行結腸癌
- (d) 大腸重積
- (e) S 状結腸軸捻転

26. 次のうち誤っているのはどれか

- (a) シトリン欠損症は新生児期に先天性胆道閉鎖症の鑑別疾患の1つである
- (b) シトリン欠損症の症例は糖質が嫌い、脂質タンパク質を好む
- (c) 糖原病 I 型では肝腫大は強く、幼少児期には食後 4-5 時間で低血糖をきたす
- (d) ゴーシェ病では肝腫大は強いが脾腫大はまれである
- (e) ウイルソン病では血清銅、セロプラスミンがともに低下する

27. 急性閉塞性化膿性胆管炎について正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 原因疾患として最も多いのは総胆管結石である
- (b) 重症例では経皮経肝胆管ドレナージは禁忌である
- (c) ショックは Charcot の三徴の一つである
- (d) 重症例では菌血症を来す
- (e) 起炎菌は Gram 陽性球菌が最も多い

28. ^{3つ}胆道疾患と治療の組合わせで正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 性胆管炎 — 内視鏡的胆道ドレナージ
- (b) 先天性胆道拡張症 — 経皮的胆道ドレナージ
- (c) 肝門部胆管癌 — 経皮的胆嚢ドレナージ
- (d) 胆嚢腺筋腫症 — 開腹胆嚢摘出術
- (e) 急性胆嚢炎 — 腹腔鏡下胆嚢摘出術

29. 膵・胆管合流異常について間違っているのはどれか。2つ選べ

- (a) 胆汁中のアミラーゼ値が上昇する
- (b) 胆嚢癌の合併頻度が高い
- (c) 急性膵炎の原因とはならない
- (d) 膵癌の合併頻度が高い
- (e) 胆管拡張を認める場合、胆管癌合併についても考慮する

30. 自己免疫性膵炎について正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 女性に多い傾向がある
- (b) 血清 IgG 2 値の測定が診断に有用である
- (c) 治療には免疫抑制剤が第 1 選択である
- (d) びまん性膵腫大を来す
- (e) 後腹膜線維症を合併することがある

31. B 型肝炎ウイルス<HBV>マーカーについて正しいのはどれか

- (a) HBV の遺伝子型で我が国で最も多いのは C である
- (b) HBs 抗体陽性は既感染と判断できる
- (c) HBe 抗原陽性は pre-C 領域の変異株の増殖を示す
- (d) HBc 抗体は HBV の中和抗体である
- (e) HBV DNA 陰性は体内からの HBV の消失を示している

32. 正しいのはどれか

- (a) HCV は変異率の高いウイルスである
- (b) C 型慢性肝炎は大半が自然治癒し慢性化しない
- (c) 我が国では遺伝子型が 1 型の HCV が大部分を占める
- (d) 近年 C 型慢性肝炎・代償性肝硬変に対して IFN フリー治療が開始された
- (e) HCV による肝硬変では肝癌合併は少ない

33. C型肝炎ウイルスに対する経口 DAAs(Direct Acting Antivirals)によるインターフェロンフリー治療について正しいのはどれか。2つ選べ
- (a) 副作用として血小板減少に注意が必要である
 - (b) 血清中の HCV-RNA が陰性化した時点で治療を終了してよい
 - (c) DAAs は単剤投与でも薬剤耐性変異が生じにくい
 - (d) ジェノタイプ 1.2 で同一のレジメンで治療内服薬が開始された
 - (e) 代償性肝硬変患者における奏効率(ウイルス排除)は慢性肝炎患者と同等である
34. 肝臓における蛋白合成能の指標として最も鋭敏なのはどれか
- (a) アルブミン
 - (b) レチノール結合蛋白
 - (c) プロトロンビン時間
 - (d) トランスサイレチン
 - (e) トランスフェリン
35. 65 歳男性のアルコール性肝硬変患者。羽ばたき振戦を認め軽度の肝性脳症のため入院した。血液検査:総ビリルビン 1.7mg/dL、アルブミン 3.4g/dL、AST 180U/L、プロトロンビン時間 75%、 NH_3 220 $\mu\text{g/dL}$ 、ICG15 分値 35%。なお、腹水は少量認められた。Child-Pugh 分類で正しいのはどれか
- (a) 6 点
 - (b) 7 点
 - (c) 8 点
 - (d) 9 点
 - (e) 10 点
36. 根治不能な肝細胞癌に対して適応のない分子標的薬を選べ
- (a) レンバチニブ
 - (b) スニチニブ
 - (c) レゴラフェニブ
 - (d) ソラフェニブ
 - (e) ラムシルマブ
37. 門脈域(Glisson 鞘)に存在しないのはどれか
- (a) 肝動脈
 - (b) 肝静脈
 - (c) 門脈
 - (d) 胆管
 - (e) 結合組織
38. 慢性肝炎について誤っているのはどれか
- (a) 肝小葉中心性の持続性炎症である
 - (b) bridging necrosis は肝硬変への進展を示す
 - (c) わが国では原因ウイルスとして C 型が最も多い
 - (d) piecemeal necrosis は活動性の指標となる
 - (e) 線維化は進展度の指標となる

39. 胆嚢癌の発生と関連のあるものはどれか

- (a) 膵・胆管合流異常症
- (b) 肝硬変症
- (c) 胆嚢腺筋腫症
- (d) 膵石症
- (e) 原発性硬化性胆管炎

40. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) でみられないのはどれか

- (a) 膵管内の乳頭状増生
- (b) 膵管分枝のブドウ房状拡張
- (c) 夏ミカン状の多房性嚢胞
- (d) 主膵管の全体的あるいは部分的拡張
- (e) 浸潤癌を伴うことがある